

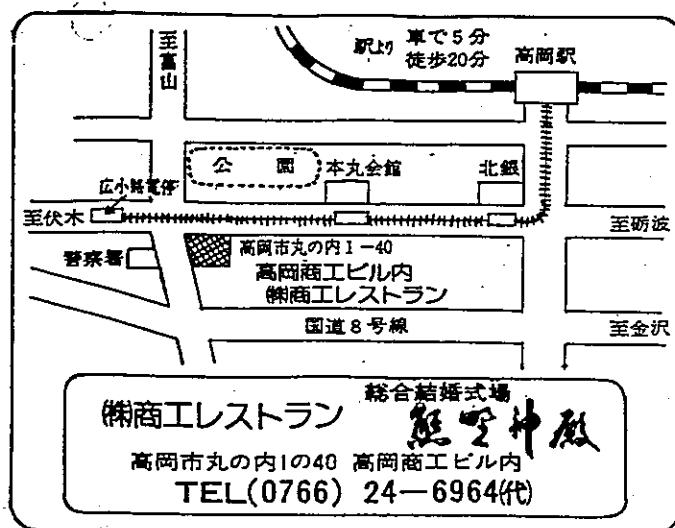
舵輪

整い帆海員船つ六
備した展王一体て四今
作だ帆丸同が經年年
業け等が、凍驗目は
をるで、貴りしの、
続よ多少重付た海雪
けうくしなくこ王も
て、ので文冬と丸比
い四方も化でのに較
ま月々長遺しなとの
す以に持産たいつ多
。降親ちで、またく
もしも財さは、
補ん、あ団し、船
修で総る職くか齡

な備！ しは
作等類船た、海
業、体。閉王
でーブ整
す般口備
。公ッは
開ク、
中類古
はのく
行更な
え新つ
な並た
いびワ
よにイ
う整ヤ
なは
備未
作か
業ら
等三
を月
行末
いま
まで

に皆
り皆作を
あ様寒行様業き寒こり、付冬
りにいうのにりさとしボけのに
がご中ごつあとがてラマ間四三
と協をと協いげ強で所ンし降月月
う力多が力てま風き定テたろか一
ごしくでをはしのまのイ。しら九
さてのき得、たたしセア小ての日
いいボまでボがめたイの雪い縦
またラしほラ、ル皆また帆土
しだンたほん人早
たきテ。予テ手め
。イ定イのに
本アどアい作
当のおのる業

る借中りて日去
さ様 渡製り
れ延こしさボさ
たべの式れらる
も一セがてん三
の四イ行きテ月
で〇ルわいたイー
す名はれセア三
のボマイの日
手ラしる皆へ
にンたの様日
よテ 完に、行
つイ 成よ昨
てア・つ年
作の 引て末
製皆 き作よ



場	日	す期年展 開ン開
商高所	平時	待は帆昨催テ始財
工岡	成	も奮に年いイす団
だの	六	込つ參度たアるで
さ可	一年	て加、しのには、
い否	八四	ごで諸ま集あ、
。を	三月	参き般すいた平
同	〇二	り成
封	二月	六
Tel	二〇	左恒年
の	（土）	記例度
の葉書	〇	ののと一事の
でお知		おボ業案
ら		内

大際き悪！ け船は、ト 働とントにこ舶をもて
型、がくド當まに自通にこいりパ、それが誇富海富
船港でなをさせな力常つてボン検タラ入り山の山
の内きり失りんるで、い中い！ ボ疫グの出、新玄の
たでな、う前。と入港てでまト！ ボボ入港年港閑空
め自く特との
に由なに、話
、にり大とで
夕動ま型たす
グきす船んが
ボが。はに、
！ と入細艶船
トれ出か効は
のな港なきス
支いの動がビ
動型船

け船は、ト 働とントにこ舶をもて
型、がくド當まに自通にこいりパ、それが誇富海富
船港でなをさせな力常つてボン検タラ入り山の山
の内きり失りんるで、い中い！ ボ疫グの出、新玄の
たでな、う前。と入港てでまト！ ボボ入港年港閑空
め自く特との
に由なに、話
、にり大とで
夕動ま型たす
グきす船んが
ボが。はに、
！ と入細艶船
トれ出か効は
のな港なきス
支いの動がビ
動型船

もちろん * 豪華賞品 あり？ *

日時 総帆展帆日の一時頃（昼食後）

R第 C二ヨ回だだいま参加艇募集中

参
い調多を
見前回、初め
と子く前回、初め
思にのた、とい
い乗観と
まつ客が
ます。第
二回大
会を開
きた。

もちろん * 豪華賞品 あり？ *

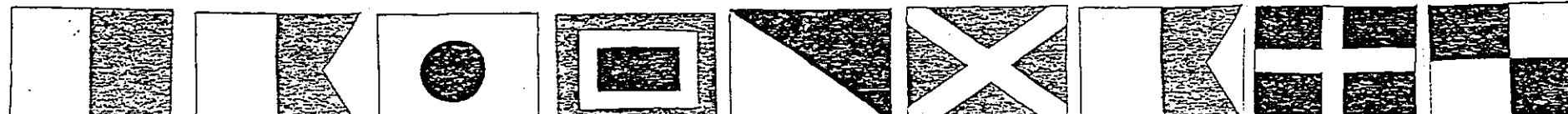
日時 総帆展帆日の一時頃（昼食後）

R第 C二ヨ回だだいま参加艇募集中

参
い調多を
見前回、初め
と子く前回、初め
思にのた、とい
い乗観と
まつ客が
ます。第
二回大
会を開
きた。

岸なしを し身にすなの等トコプ最すノスすでとント
壁るな引パま事大。い動のがす口もがツビ。大船をの港
にとがいいい故き相よき影大波ペ緊、ト！ こ型尾渡指外
大押らて口まやい手うを響型にラ張こはドの船にす示一
型し港大ッす船上はタ押に船よかすの時はタとタたにマ
船た内型ト。体にタケさよにるらると速約グタゲめよイ
の、グラえる吸吸のとき約五ラグラにりル
破ぶボイな複い引奔きがー、イニイ近大付
損つ、イが雑寄作流でタ。ーン隻ンづ型近
事かトンらなせ用、すグ八〇をはをき船で
故つよを、タラヘ大。のKノ渡つとまに、
がたりわぶグレタ型大操mツすなりすタバ
おらはたつボるグ船型船ーととが、。ゲイ
き、るしか！ ボの船者位へきりこ船ラロ
ま別の。先約港

？ ます斜右すつ割は丸離グ〇隻！ 援
一せ、め左。てに一は着ボ、いト現が
ん自に、新もは、六岸！ 三まが在必
。動も前し操力五〇さト、す三富要
怪車航後い縦も〇〇せを〇。隻山な
力で走進タ性あ〇馬ま使〇エ、県の
かもすはグ能り馬力すつ〇ン小ので
つこるもはの、力ニ。て馬ジ型港す。
運んちそ良そニ基、ち型でのグは
動なころのいし基、な船こ出ボ大
神こどん場のて、新一み海に岸らはトタ
抜はでこ旋自んか王、海壁の二がグ
！ きま、でいの、王にタ〇三ボ



くいら型 またどんもン思前がスセのく海ニにナ出ヤグ指港たた経
だる一船ボすち特でを小タヒニ、トなでな王ツ接ヤて！ラ示に頃ちを入
さ小そにラ。は殊しとさマ出は後とが乗い丸ク触いドイで入でが使港
い型う乗ン 技なたつくりがヤろのら組しのにしドるヘン、港す一つ作
°船で船テ 術船。て木アあ！に間フ員、船なそがし帆をおし。日た業
になすイ はがまも造号りドはにオを突体りう海、桁ともた海本ので
もくるア も入た押船がまがラ恐アブ起にそに王ターりてと王海は私
注と機の ち出自しの入すあイタマリ物大うな丸グやにへき丸丸、た
意も会皆 ロ港衛引た港。りフ待スツをきでりのボロ接船、が「海ち
を、が様 んす艦きめしそ肝ボ待トジ壊なし、ロ！」近首バ初に王が
払港あも 神るやも、たのを！機と上し力た頭アトブし付イめ乗丸過
つでり客 経度潜で夕時他冷トしメにたも。の！のがた近口て船で去
て働ま船 もに水きグににや、まい見くかま中ヤア舷と一ツ富しす一
みいしや 使、艦まラははし目じん張なけたが！ン外きにト山て。番
てた大 い私なせイ船サたのたマらいた、パドテに、タの新しい私神

外然ま起狭型ていり出港するときは、二隻のタグがそれぞれおもて（船首）と、ともがで防たて水を十出港する
まにつきい船、る（船尾）にタグラインを取り、パイ工ぐ場大域出分港船の指示により岸壁に着いて
スた合型で港に広く船をゆづくり引き出します。
コめ、船江さ広くに乗がんせい水域でり動ジる水
ト、タグゲンの事くラす回頭させ出します。
しタ揚げなトで等の際、大工が港未しが
てイキます。

すにンの環層がテにらが王訪道角
立ボ母境嬉母イ触れご丸れ路々富
ちル船にし船アれて当のた標に山
たとがあくはのるい地ボ市識あに
いな環る思何皆整るのス役やる引
どる日母いと様頓こ皆夕所、一つ
考た本船ま幸のさと様！の新海越
えめ海のしせ心れをにな各湊王し
て、交たたな意た知あと所市丸て
い少流め。こ氣索りたにに民パく
るしの、ことを具、た、飾にーる
こで拠そのよ感に久か我らなク折
のも点し幸とじボしくがれるー
頃おのてせ、ラぶ迎母たたへ街
で役シそな大我ンりえ船海めの

りスムー！スに出でこないのもお分か
はいいただけるでしょう。我母船（ハハブネ）海王丸と
出会いは、大学三年の実習でし
た。二航が、登つてくる実習生ひとりを、
登つてくる実習生ひとりを、エントマ帳でチエックす
るのに降参しました。時は流れ
て、市原船長のもと、母船の一航
勤めていふとき、東京に停泊中、春一
番の強風に流された貨物船が折
ぶつかり、バウスピリットがひびが入つて、
その対策に腐心したこと、今まで
むしろ良い想い出となりまし

常務理事 平井顕
勇退された市原前常務理事の後任者、平井顕へひらいけん一です。成年生まれです。よつて「ケンケン」というあだ名がつくのはごく自然なことのようで、「ケンケンシングツ」を集めのを、最近の趣味としています。
生まれは、中国遼寧省瀋陽市
(当時は奉天といいました)。
一九歳で帰国(厳密には初来日)
するまで、大連、長春、四平、ハ
ルビンで過ごしました。日本語が

振お職と「海多超平ス四月を帆が年三咲
りらし員王くえ均夕月度人く春
にれば一言丸くえ参ト九月をの頃遅
おるら同つへる数加ト九月をの頃遅
越方く考て行ボで入数はます。よ
しも海えいラントラシタ。今年の総帆
下、王てたたら樂シアや年総帆展
させ丸いだけアの皆様にトメま
いひかます。よい。う、「九月の総帆
。海らする。よい。う、「九月の総帆
(望遠鏡)遠ざかつて財団名展帆
鏡へかつて財団名展帆

きわ いすとたにをすよて乗て回 のとをのまな ていに壊でるこまさはて出 し
るれ四しのしか喜よがうの船初航私場計利名すくしい。來すきことれん、戸向練てこ
日ま月までてらびく、に乗り代、が所画用所。樂かま今てとな、が育ざ富惑を習着の
をす二すごーにを勉こ心船た一係学を中心し、富ししすで自心い家なつん山い命船任度
樂。九。助層は感強の配とこ日留生おでて旧山みな
し皆日 言磨海じで2やなと本さの聞す是跡及にが
みさか 、き王てき年樂りが丸れ頃か。非、びしら
にんら ごあ丸いる間しまな、ま、せみそ温富て心
しとは 指げをま機、みすくし富下なれ泉山い配
て一総 導た海す会帆は。、海た山さらが近るご
い緒帆 宜い技。で船多先今王。にいんをあ郊こと
まに展 しとの富あの々に回丸し海。の訪りにとば
す。作帆 く思伝山るぎあ述がーた王 おれ、はもか
。業も おい承にこ装りべ初にが丸 薦よ休多あり
で行 願ま者来と等まためはつが めう日くりで